

り収入が低下しているが、町内の畜産業振興のため引き続き運営していきたい。

ヘリコプターでの野ネズミ駆除薬剤散布により及び農作物への影響は。

山林内での散布であり、人や農作物への影響はない。

エゾシカ駆除のハンターが少ない。また、高齢化に伴うハンター不足への対策は。

エゾシカ被害は、近隣市町にも共通する課題であることから、広域的な対策について検討していく段階である。

【商工費】

イベント用のテント、イス等の備品の老朽化が目立つが対応は。

助成制度などの状況を見ながら更新を検討する。

新十津川物語記念館の入館者数増加の要因は。

サンヒルズサライヤグリーンパークの宿泊者へのPR効果と考えられる。

吉野公園の池の水質状況は。

その年によって状況が変わるが、今年は水質の汚染は見られない。

国道451号に公衆トイレがないため、吉野公園トイレに集中し汚れがひどいと聞かされた。

清掃委託し、管理している。

町民参加重視のイベントの検討は。

イベントの目的を明確にした取組みを行っていく。

都市と農村交流事業が最終年となる。次年度以降の考えは。

要望や意見を聴きながら前向きに検討する。

【土木費】

現在保有の除雪機械の台数は。

パトロール車1台を含む全15台のほか、道路管理組合から8台を借り上げている。

町道の補修時に古い縁石を再利用しているが、そのコスト削減効果は。

錦野団地の補修工事の例では、使える古い縁石を再利用することで、全体の1割ほど経費削減されている。

【消防費】

発電機設置自治会館における、非常時の発電時間は。ガソリン10リットルで約10時間の電源を確保できる。

【教育費】

新十津川農業高校は、特色ある教育を掲げ募集しているが、一番遠い所から通っている地区と、通学助成額は。深川市からで、年額13万7990円である。

砂川地区特別支援教育推進協議会の活動内容は。

就学時の児童生徒に特別支援教育が必要か否かの審査をしている。

フッ素を使っているが、効果は。

平成25年から始め2年目のため、まだその効果は確認できない。

小学校の理科離れが言われているが、専門教師の派遣による効果は。

テストなどでの効果はわからないが、理科が楽しくなったという声が増えている。

小学校の特別クラブ活動の人数と経費の使いみちは。スクールバンド39人、獅子神楽16人、合唱団12人で、人数は増加傾向。経費の使いみちは、活動に必要な消耗品の購入等で、総額10万4920円。

児童生徒の貧困による格差に対する援助の内容は。

学用品、部活動費、修学旅行費などを、就学援助制度により支援している。

中学校のおやじの会の会員構成と活動内容は。

PTAの父親で構成し、学校祭のもちつき、校内のペンキ塗りなどの活動を行っている。

日中でも照明が必要な図書館に、LEDやソーラーパネルの設置を検討すべき。効果の高さを踏まえ、全庁的な検討を行う。

絵本ふれあい事業で配付している手さげ袋は、どこで作られたものか。

ゆめりあ内のあざれあ工房。

そっち岳スキー場の案内板が分かりにくいと町内外の声があるが対策は。

案内板は一昨年も増やしたが、現状を見て分かりやすくする。

そっち岳スキー場リフトの運行体制は。

索道業務(リフト運行)資格を持つ民間事業者に委託している。

子供たちの水泳教室やスキー教室を今後も充実してほしい。

現在計画中の総合型地域スポーツクラブで、幼児も参加対象に含めた事業を提案していく。